

～子供の声を聴こう！これからの学校づくり～



# 魅力だより



No.2

R5. 8月

高校教育課学校教育生徒指導班

1学期も終わり、夏休みを迎えました。

生徒指導の係としては、この夏休みを、子供たちが元気に過ごしてくれること、そして、2学期も笑顔で登校できることが一番の願いです。

さて、去る7月18日(火)に、国立教育政策研究所生徒指導・進路指導センターの主催で、「令和5年度生徒指導研究推進協議会」がオンラインで開催されました。県内の多くの教育委員会関係者の方に御参加いただき、誠にありがとうございました。

国研の調査研究結果の説明や、生徒指導提要进行を踏まえた生徒指導の在り方についての協議など、大変勉強になることが多くありました。

その中で、参考となる内容をピックアップしてご紹介します。

## 1 同僚性は大切です！

協議会での報告等から、次の点がポイントとなると捉えました。

① 教職員同士が教え合いや学び合いの文化・風土を醸成し、教職員一人一人が尊重され、支援し合う職場環境が、仕事への意欲と同僚性の改善に影響する。



② ①によって、教師から児童生徒への支援の充実につながる。  
(支持的意識, 規律指導, 授業改善など)



③ 教師の支援の充実により、児童生徒の学校へのつながりや愛着が育まれる。



多くの方は、感覚的に感じていたのではないかと思います。協議会の内容からこのようなことが考えられます。「同僚性」の大切さを改めて感じます。

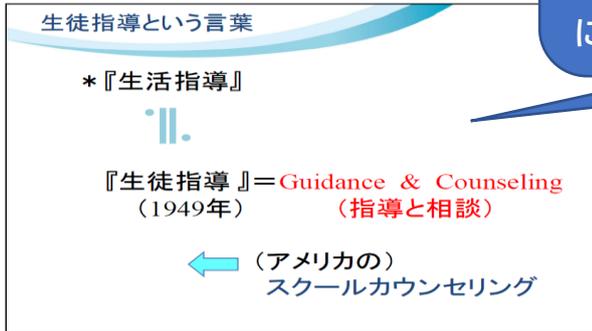
発達支持的生徒指導、「魅力ある学校づくり」の考えとも合致。

不登校や諸課題の未然防止にもつながります。

## 2 これからの生徒指導の方向性

和訳されたときに、生徒指導とは本来「ガイダンス」(指導)と「カウンセリング」(相談)を行うことだという意味が薄れた。

その結果、これまでの狭義の「生徒指導」のイメージにつながってしまった。



(関西外国語大学 新井 肇 先生の資料より)

これからの生徒指導はこれが必要

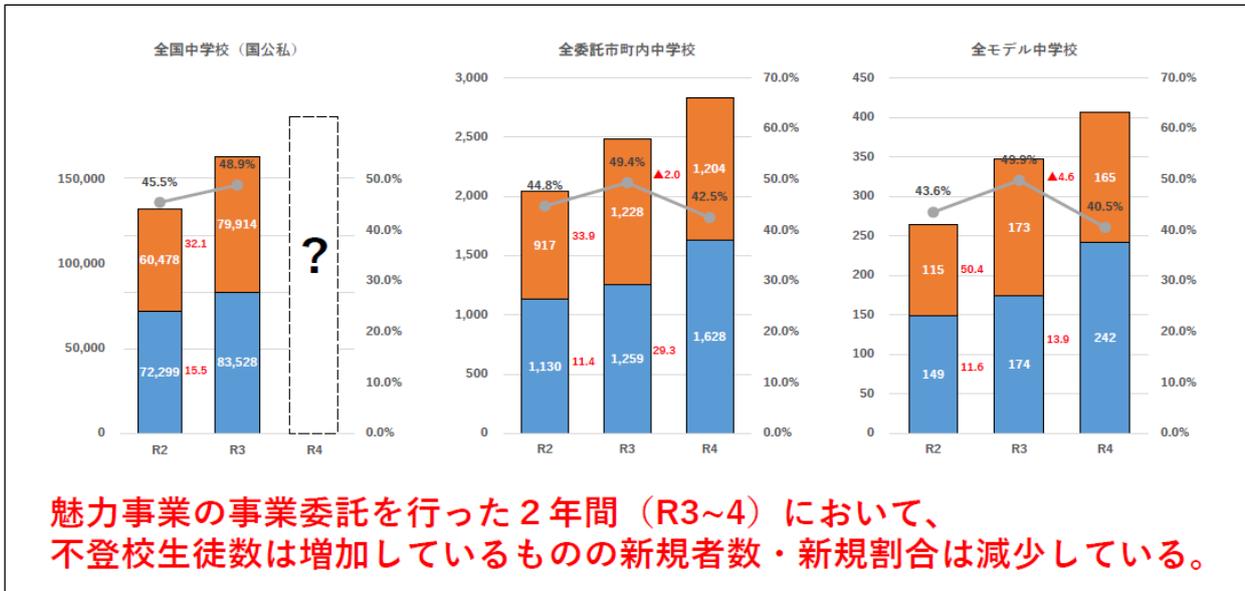
「ガイダンス」(指導)

「カウンセリング」(相談)

「ソーシャルワーク」(社会的支援)

## 3 「魅力ある学校づくり」の取組の成果

### 不登校生徒数の推移(全国・全委託市町内中学校・全モデル中学校)



(国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター 高橋 総括研究官作成資料より)

全国的な増加の状況に比べ、委託地域では不登校が

抑制。成果が出ています!「信じて続ける」ことが大切。

## 4 不明な点、疑問があれば、いつでも連絡してください!

各学校では、取組を進める中で、不明なことや疑問に思うことが出てくることと思います。ちょっとしたことで、どうぞお気軽にお尋ねください。(市町村教育委員会、各学校からでも大丈夫です。)

【連絡先】高校教育課学校教育生徒指導班